

第33回 精神保健福祉講座

病んでも認知症になっても、このまちで。 ～誇り・味方・居場所～

皆さんにとって、住まいは「居場所」になっていますか？今、引きこもりや障害などの理由により、社会との繋がりが持てていない人たちがいます。その要因はどこにあるのでしょうか？今後、私たちが「このまちで、病んでも認知症になっても安心して生活をしていく」ために、どのような手立てがあるのかを考える必要があります。

このような時代に「住みたい街でどのように生ききるか」を考える機会として、今回は朝日新聞100年の歴史で初めての女性論説委員である大熊 由紀子さんにご講演頂き、参加者の皆様と深く考えていきたいと思えます。

日 時 **令和2年2月22日（土） 12:50～16:00**

（12:30開場・受付開始）

講 師 国際医療福祉大学大学院教授
福祉と医療・現場と政策をつなぐ志の縁結び係 & 小間使い
大熊 由紀子 さん

会 場 東京都立多摩図書館セミナールーム
JR 西国分寺駅 徒歩7分（地図は裏面にあり）

申 込 申込書(本誌ウラ面)にてFAX

〆 切 **令和2年2月7日（金）**

定 員 200名

資料代 300円

♡大熊由紀子さんプロフィール♡

介護保険のきっかけとなり、日本の福祉を変えた本と呼ばれるベストセラー『「寝たきり老人」のいる国いない国』や『恋するようにボランティア』などの著者。18ヶ国6000人の志ある方々をつなぐ、身体拘束、やまゆり園事件など、マスメディアで報じられないテーマをホームページとメルマガで発信する志の縁結び係 & 小間使い。

朝日新聞100年の歴史で初めての女性論説委員。大阪大学大学院ソーシャルサービス論教授をへて、国際医療福祉大学大学院医療福祉ジャーナリズム教授。



共 催 社会福祉法人 はらからの家福祉会 ・ 社会福祉法人 万葉の里
協 賛 国分寺障害者団体連絡協議会、国分寺あゆみ会、国分寺すずかけ心療クリニック、
はらからの家賛助会
後 援 国分寺市、国分寺市教育委員会、国分寺市社会福祉協議会、東京都多摩立川保健所、
東京都立多摩総合精神保健福祉センター

問い合わせ はらからの家福祉会 ☎ 042-323-5637 毛塚、小野寺

第33回 精神保健福祉講座

参加申込書

-お申し込み先-

社会福祉法人 はらからの家福祉会

FAX 042-328-3240

締め切り 令和2年2月7日(金)



お 申 込 み 日	令和	年	月	日
お 名 前				
日中連絡が取れる電話番号				
所属団体名等 (ある方の場合のみで構いません)				
宣伝をしたいものがあれば 内容を記載して下さい				
手話通訳等の必要な方は右記欄 にチェックをお願い致します	要 <input type="checkbox"/>			

- * 複数人お申し込まれる場合、お一人一枚ずつ送信願います。
- * 座席数が限られているため、お申込み人数が多数の場合、先着順とさせていただきます。
- * ご自身の活動で、宣伝をしたいものがあれば内容をご記入ください。
- * 手話通訳等、必要な方は申込書にてお伝え下さい。
- * 本紙と資料代を当日ご持参ください。